

2021年3月期 第1四半期 決算概要

2020年8月7日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証第一部)

2021年3月期 第1四半期 決算ハイライト

コロナ禍の中、大幅な減収となるも、固定費削減等により増益を確保

売上	連結	連結売上高は、前年同期比84.2%、13億円減の71億円。
	日本	前年同期比82.5%の30億円。 全業種売上が振るわない中、特に自動車関連の低迷が影響大。
	中国	前年同期比85.7%の33億円。 電子部品・半導体関連は好調だが、自動車関連の低迷が継続。
	東南アジア	前年同期比97.6%の3億円。 ベトナム、インドネシア、シンガポールは好調だが、これを除くエリアが低調。
	欧米他	前年同期比77.4%の4億円。 特に欧州向け輸出が振るわず、欧米ともに低調。
利益		営業利益は24百万円(前年同期は営業損失29百万円) 経常利益は6百万円(前年同期は経常損失90百万円) 四半期純損失は76百万円(前年同期は四半期純損失126百万円)
ネット資金		運転資金削減等により、期首から257百万円増加。



損益計算書サマリー(1Q比較)

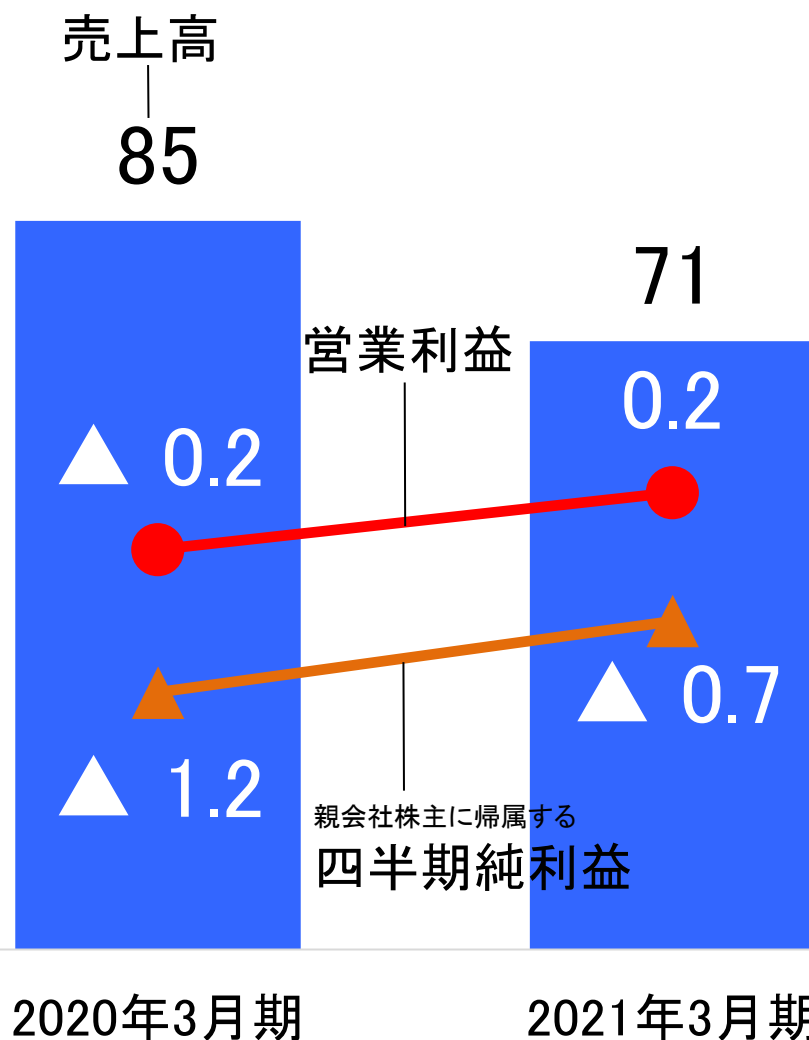
(単位:百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	前年同期差	前年同期比
売上高	8,511	7,169	▲ 1,342	84.2%
営業利益	－ ▲ 29 0.3%	24	54	－
経常利益	－ ▲ 90 0.1%	6	96	－
親会社株主に帰属する 四半期純利益	－ ▲ 126	－ ▲ 76	50	－



売上高と営業利益(1Q比較)

(単位: 億円)



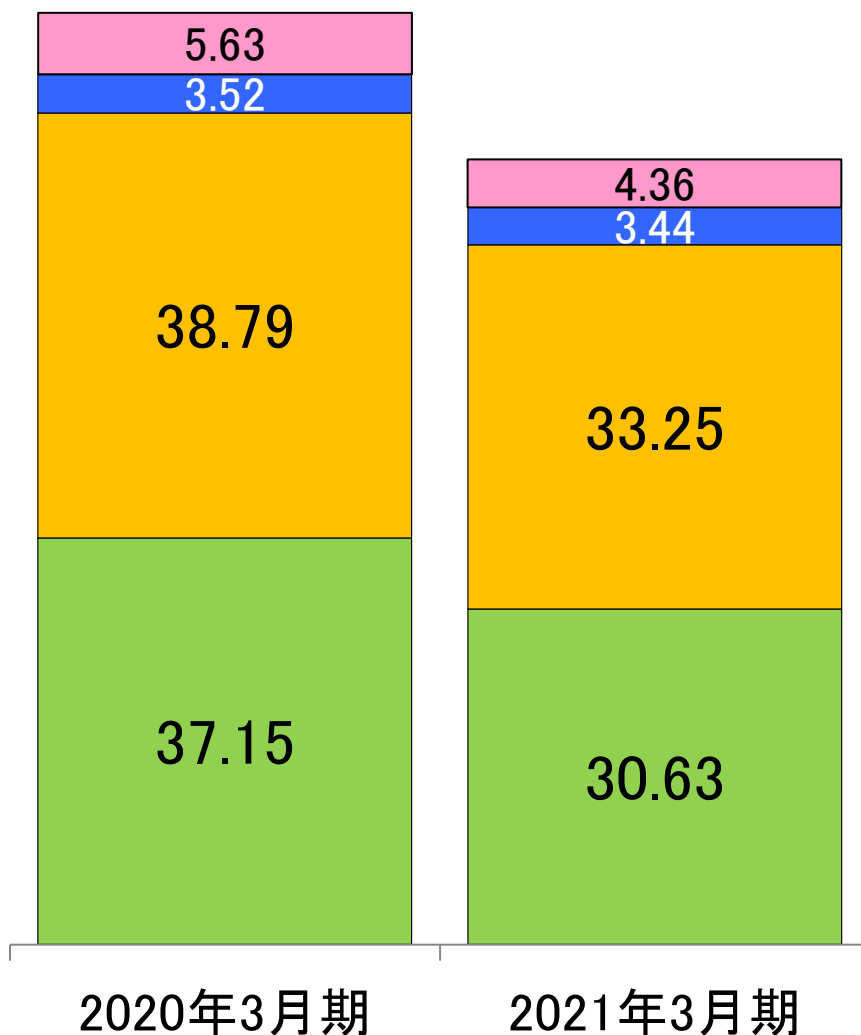
【前年同期比較】

売上高	13 億	42 百万円	減収
営業利益		54 百万円	増益
純利益		50 百万円	増益

※親会社株主に帰属する四半期純利益

地域別売上高(1Q比較)

(単位: 億円)



全ての地域において減収

欧米他

特に欧州向け輸出が振るわず、欧米ともに低調

東南アジア

ベトナム、インドネシア、シンガポールは好調だが、これを除くエリアが低調

中国

電子部品・半導体関連は好調だが、自動車関連の低迷継続

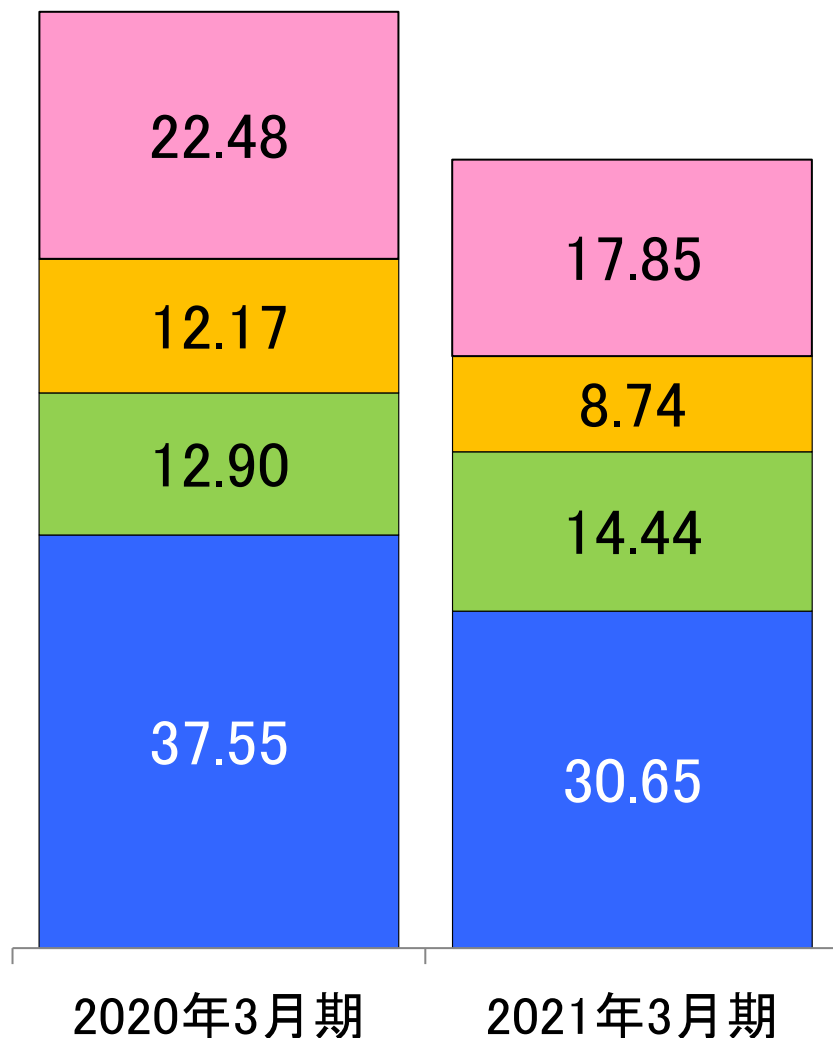
日本

全業種売上が振るわない中、特に自動車関連の低迷が影響大

業種別売上高(1Q比較)

(単位: 億円)

自動車関連の不調が全業種に波及



その他

医療関連は底堅いが、その他が低調

家電・
精密機器

家電は横ばいだが、精密機器が低調

電子部品
・半導体

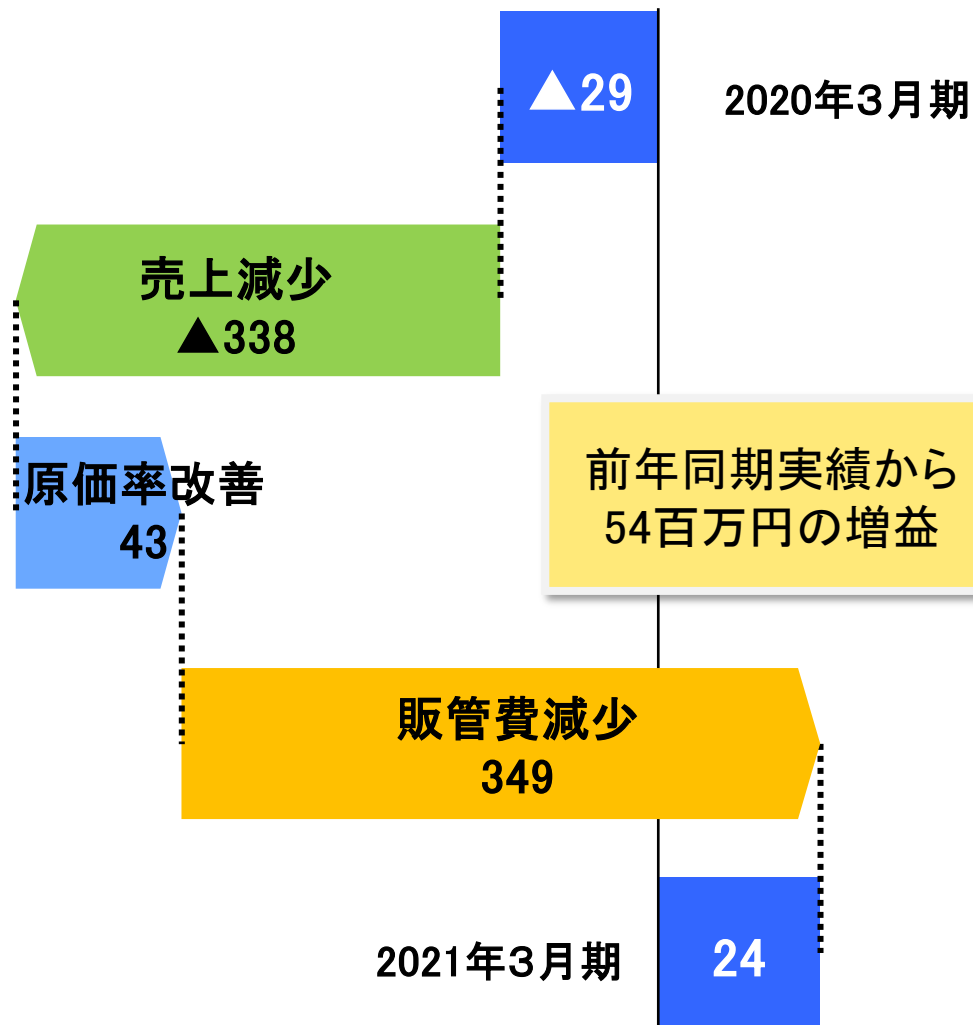
中国で5G関連の受注好調もあり、電子部品が好調に推移

自動車

日本・中国ともに生産台数の減少等の影響大

営業利益増減(1Q比較)

(単位:百万円)



【売上 of 主な増減要因】

■ COVID-19拡大を背景とした、
営業日数減や工場稼働日数減
による大幅な減収が影響

【原価率 of 主な増減要因】

■ 前期の減損損失計上による
減価償却費の減額等が影響

【販管費 of 主な増減要因】

■ グループ全体で販売管理費
を抑制
■ 前期の減損損失計上による
減価償却費の減額等が影響

貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2020年3月期末	2021年3月期 第1四半期末	比較増減
総資産	25,576	24,098	▲1,478
総負債	13,829	12,810	▲1,018
うち有利子負債	6,455	6,511	55
純資産	11,747	11,287	▲459
ネット資金	▲3,065	▲2,808	257
自己資本比率	45.8%	46.7%	0.9pt

	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	318	121	▲196
減価償却費(無形固定資産含む)	433	288	▲145



参考資料



会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都品川区南大井6丁目22番7号
設立	1975年3月
資本金	28億9,773万円
従業員数	4,020名(グループ連結、2020年3月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起弹簧(大連)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PUNCH INDUSTRY MANUFACTURING VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア) PUNCH INDUSTRY USA INC.(米国)



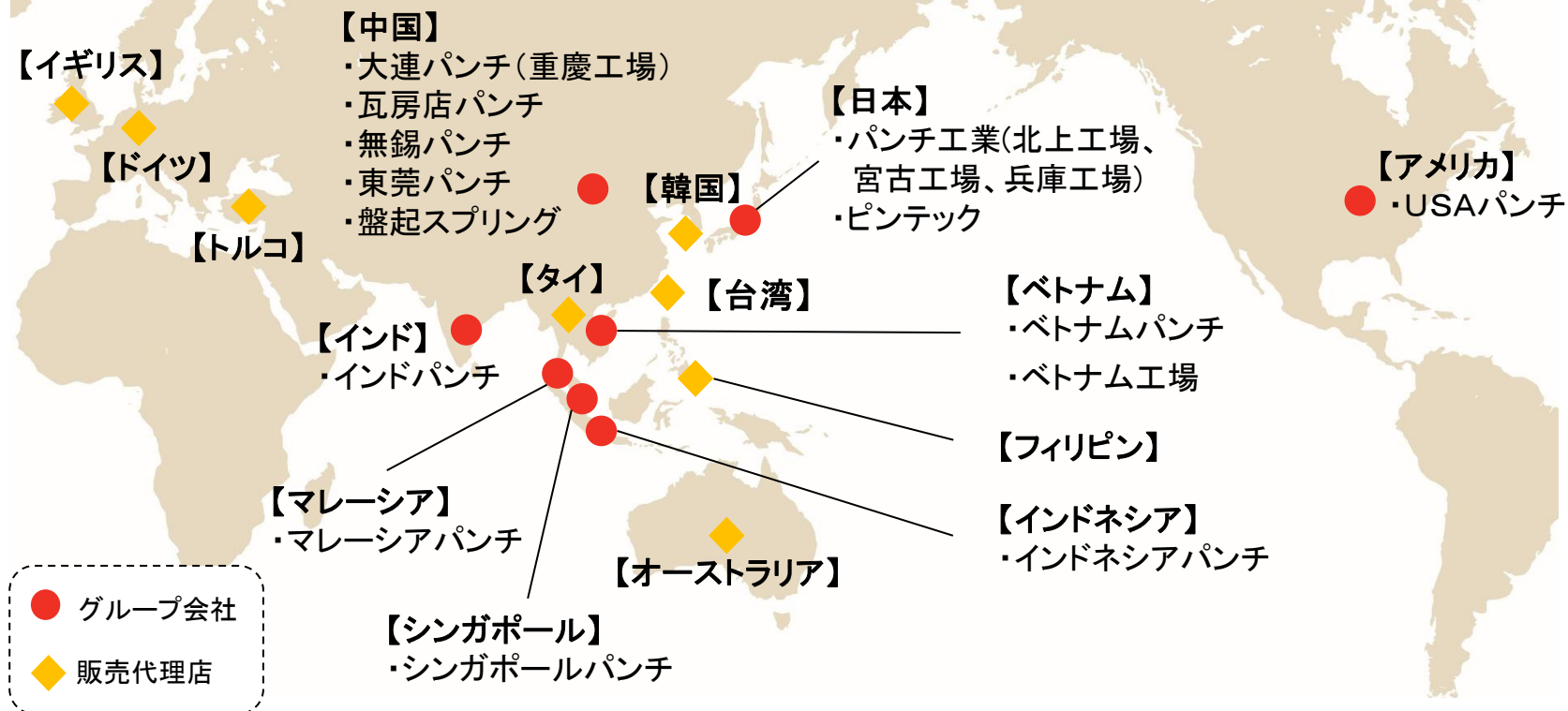
パンチグループのネットワーク

生産拠点数

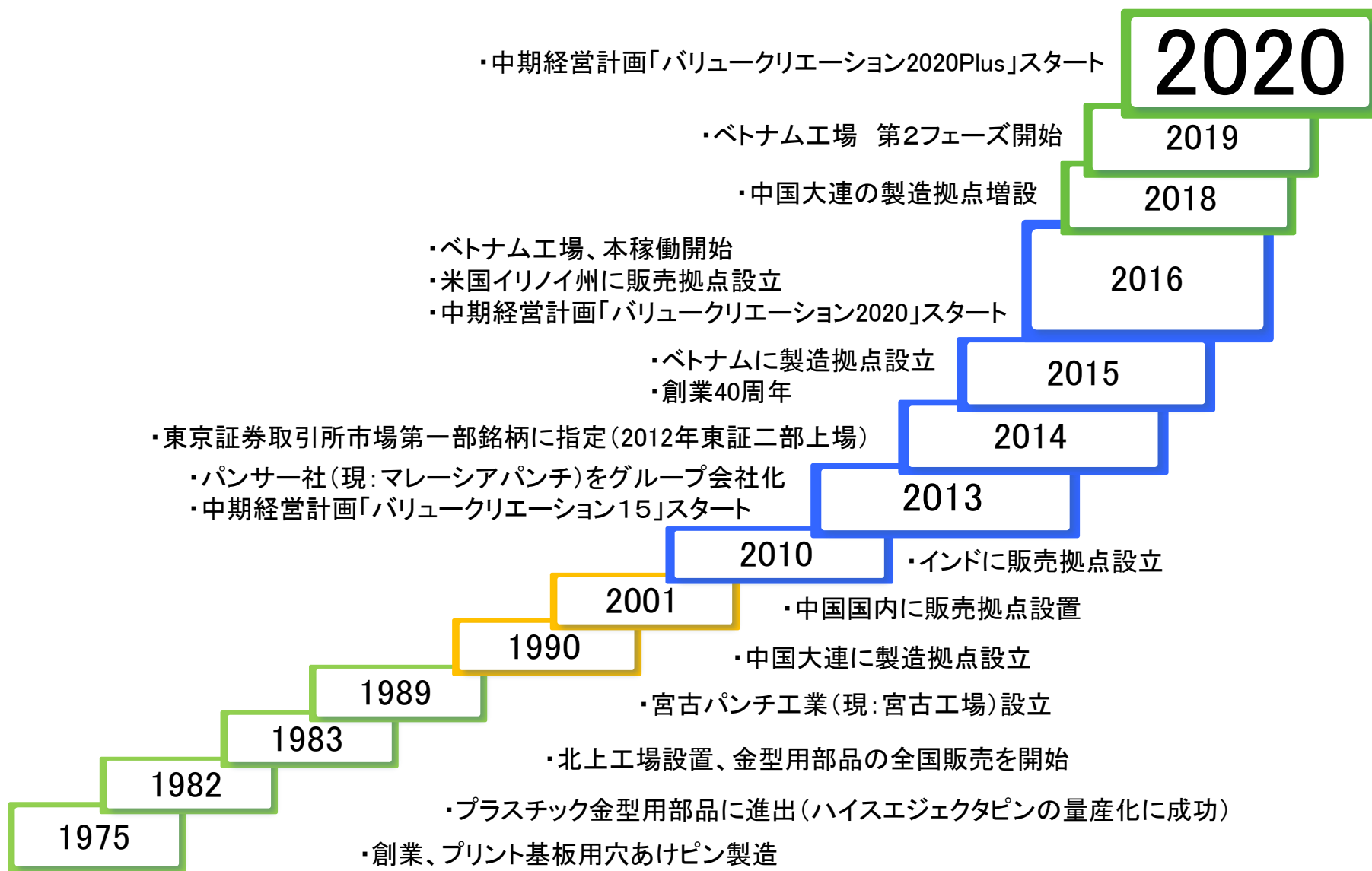
日本	海外
4	8
カ所	カ所

販売拠点数

日本	海外
11	40
カ所	カ所

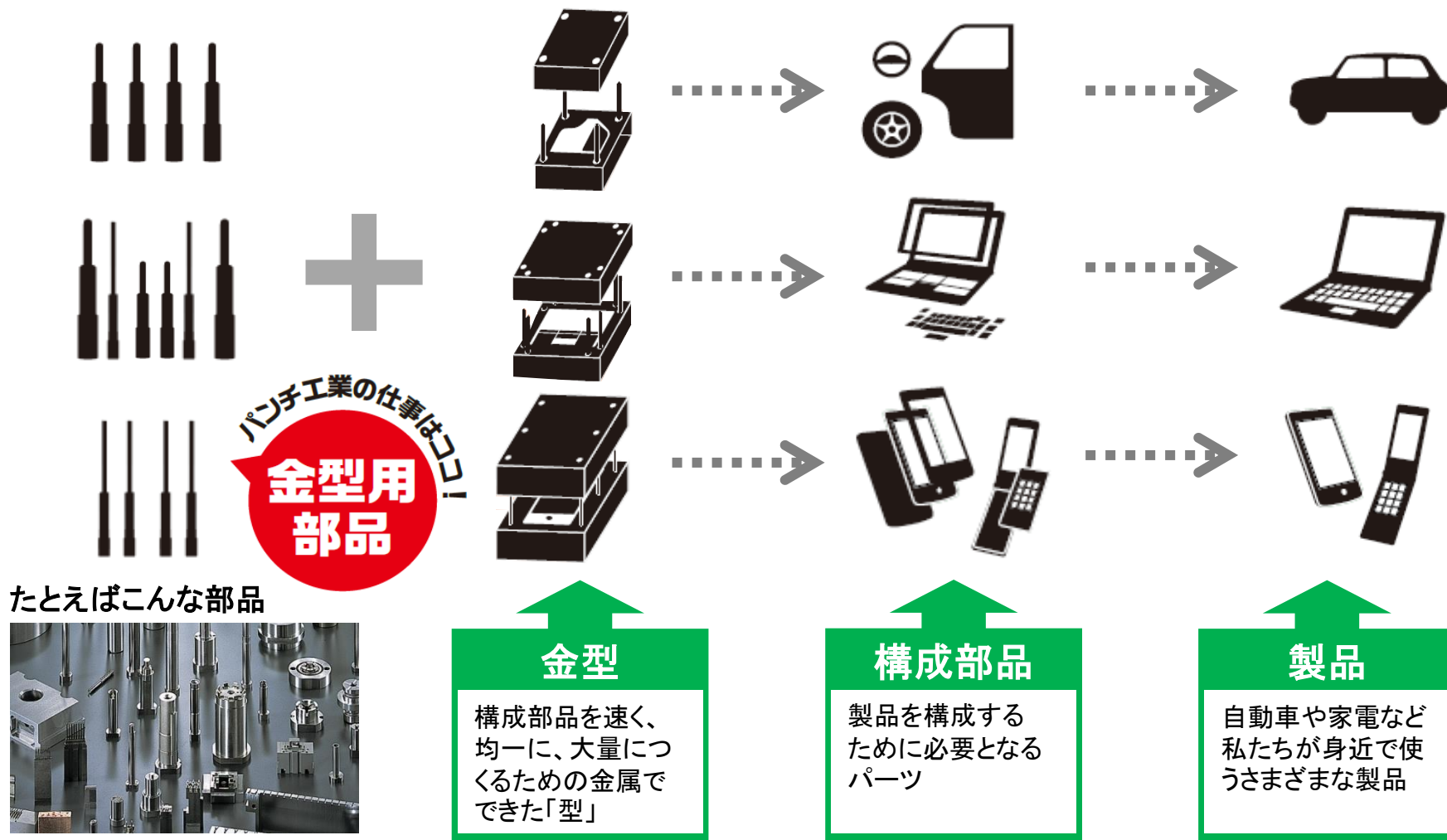


沿革

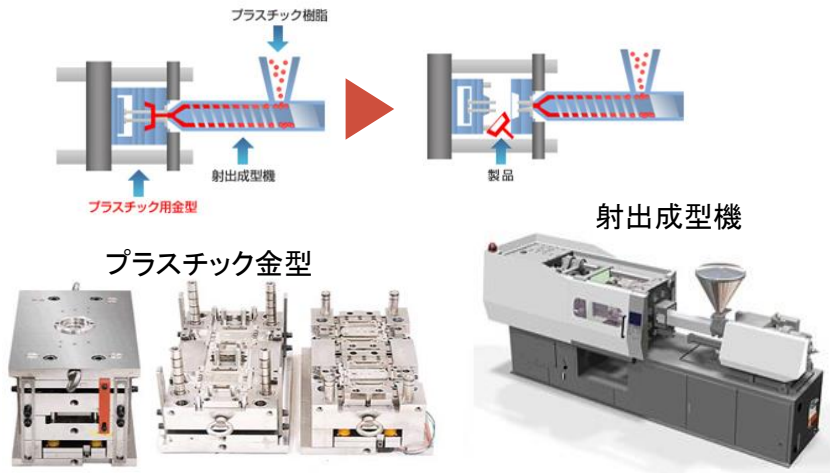


事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密部品の製造・販売



プラスチック金型と金型用部品



エジェクタピン



スリーブブシュ・ロケットリング

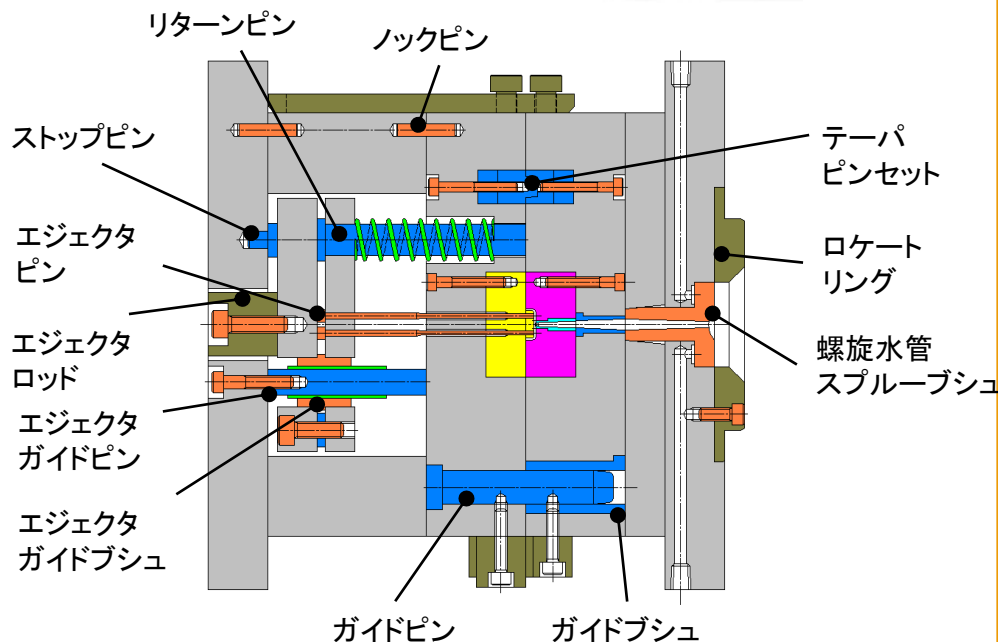
●プラスチック金型用部品について

プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られています。

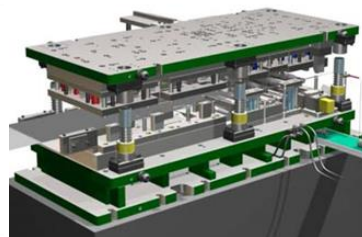
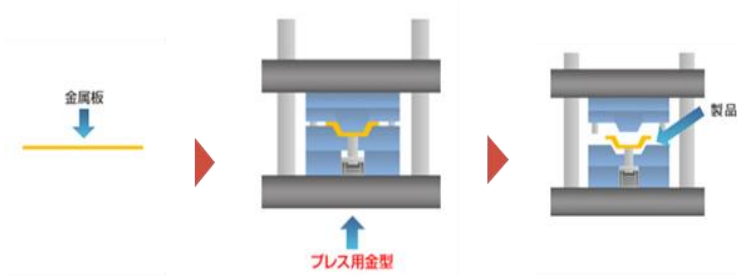
当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スリーブブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

エジェクタピン... 成型品を金型から離し、突き出すための部品

スリーブブシュ... 射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品



プレス金型と金型用部品



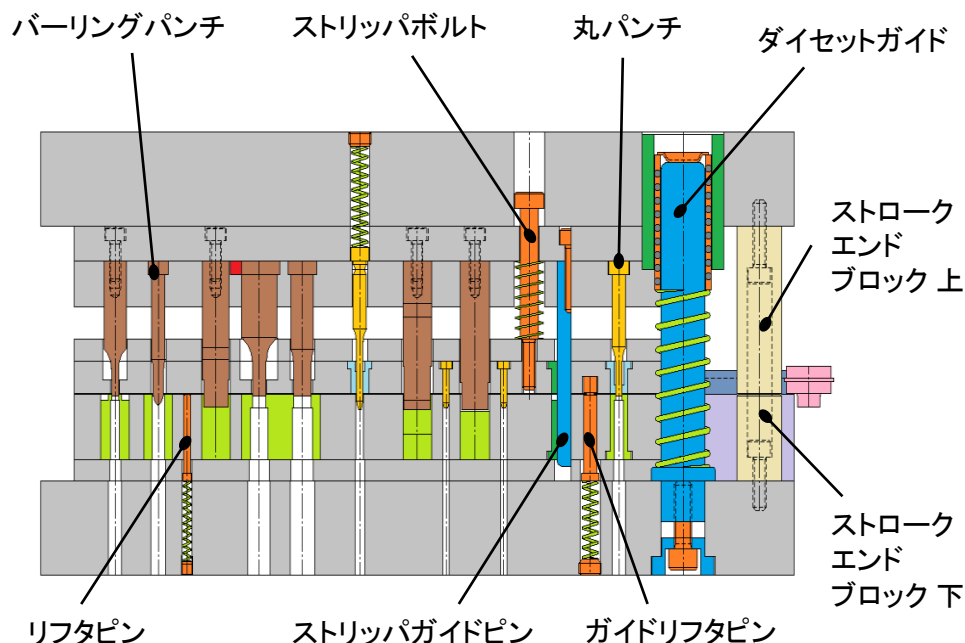
プレス金型



パンチ



ダイセットガイド



●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料(金属の鋼板)を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用する金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

- | | |
|-----------|---|
| パンチ…………… | パンチは材料に押しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品 |
| ダイセットガイド… | 上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品 |



パンチグループの強み

お客様に高い満足度を提供



カタログ品

汎用性の高い標準製品を
豊富にラインナップ

タイムリーで的確な ソリューション

特注品

カスタムニーズにも
柔軟に対応



一気通貫の生産体制

2,000台以上の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制

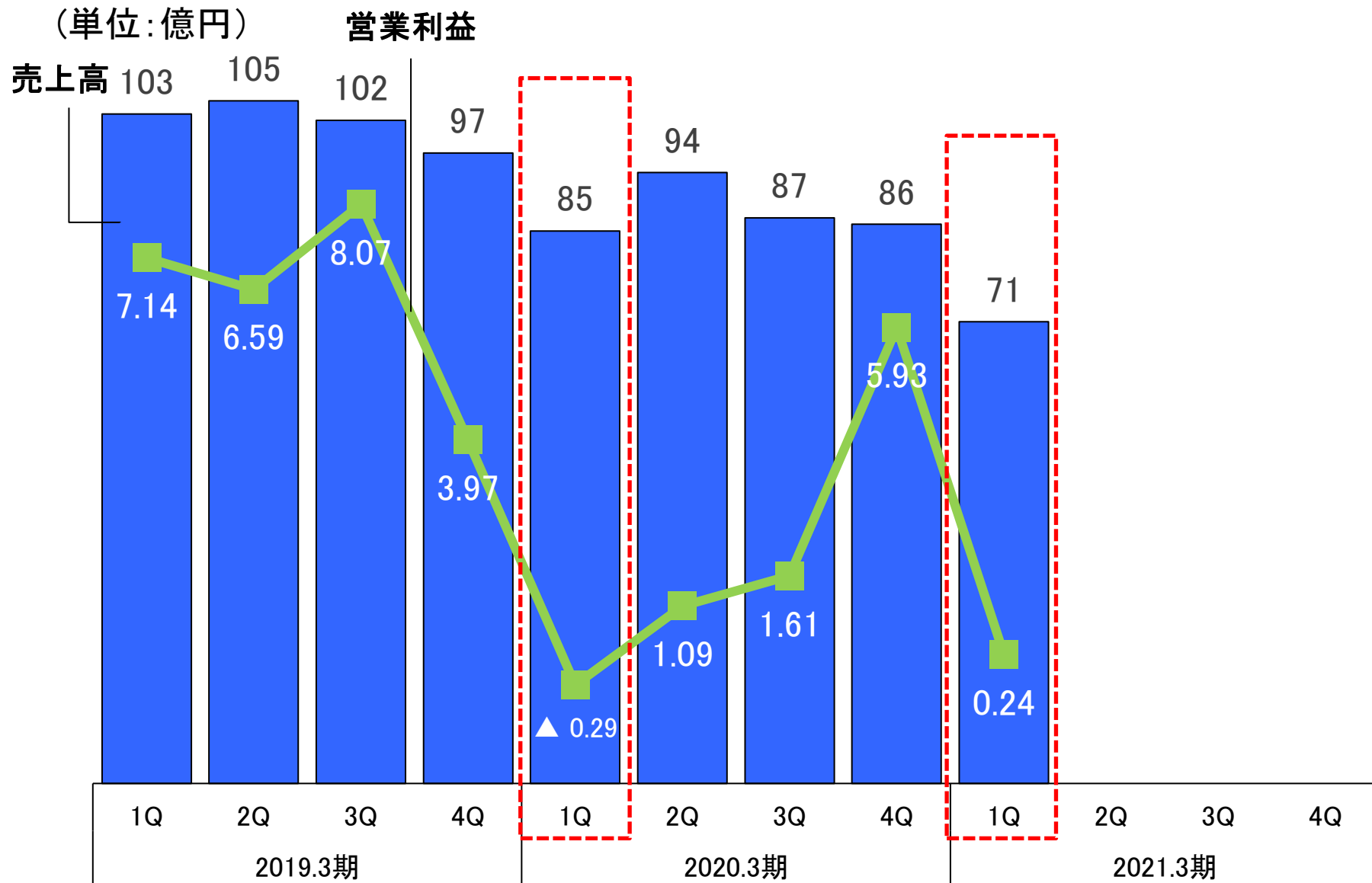
きめ細かな対応・提案力

高い技術力

創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発

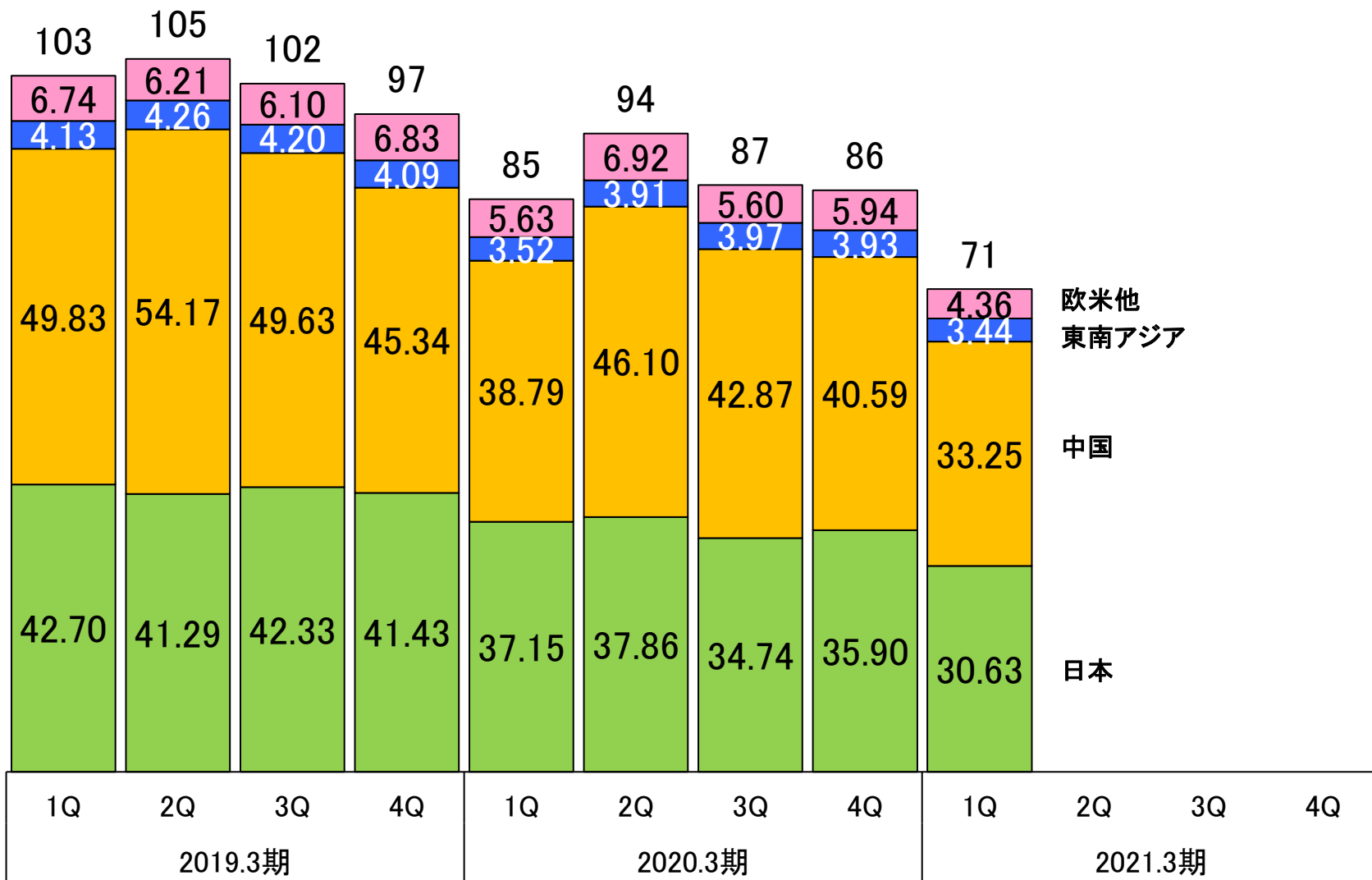


売上高と営業利益の推移



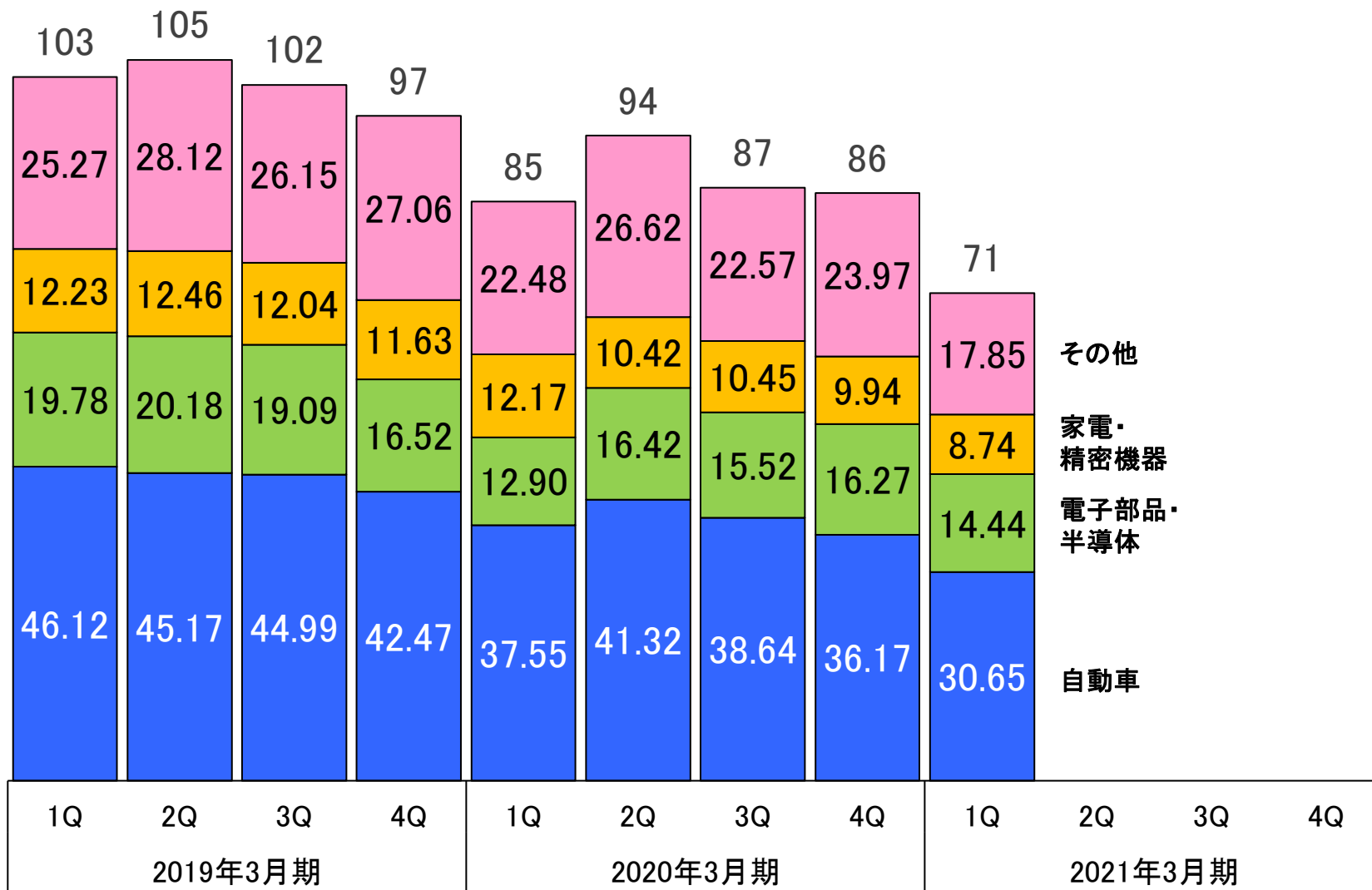
地域別売上高

(単位: 億円)



業種別売上高

(単位: 億円)

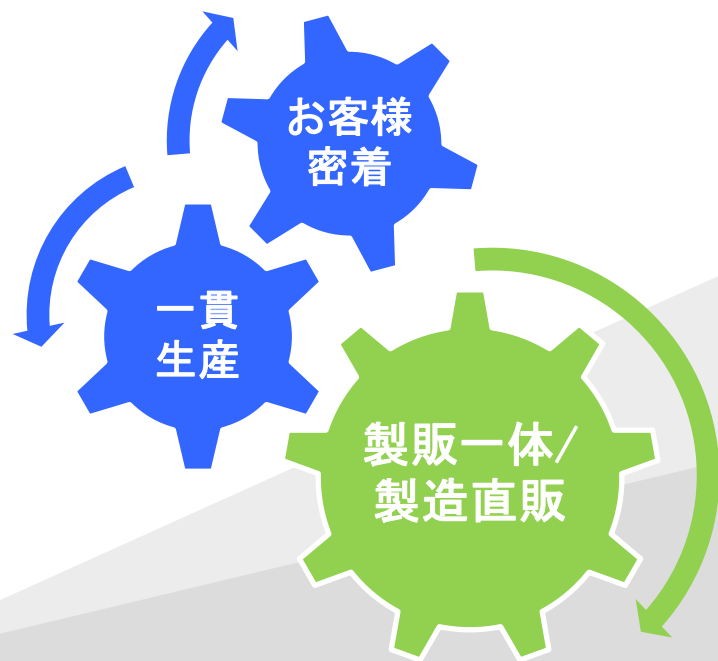


CSR経営と企業ビジョン

CSR経営

世界のものづくりを支える企業であり続けるために
CSR経営を実行しています。

企業ビジョン

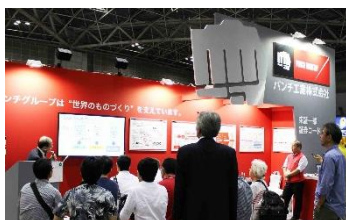
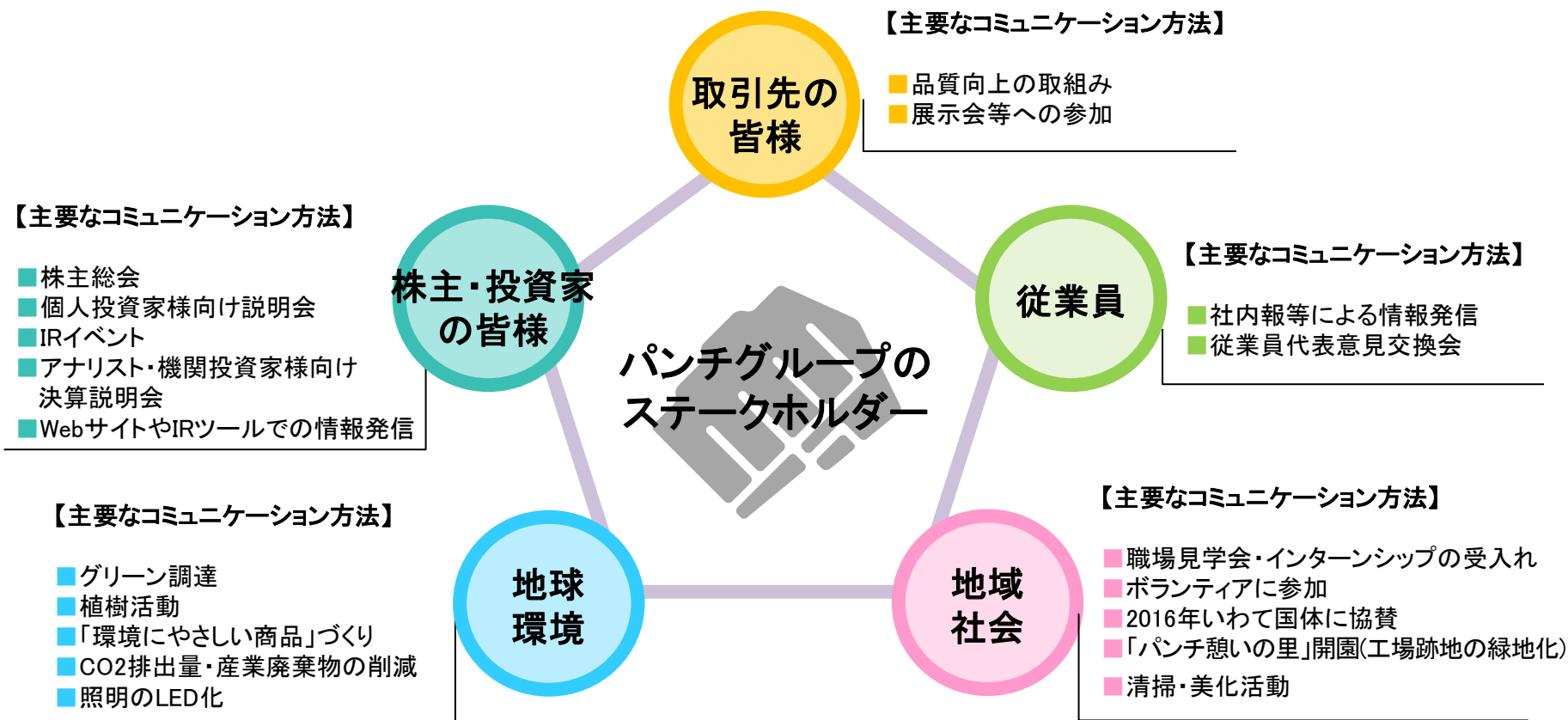


世界のパンチへ

金型部品業界での
トップブランドを確立し
製販一体企業としての
優位性を活かした
高収益企業を目指す



ステークホルダーとのコミュニケーション



IRイベント出展



「パンチ憩いの里」開園
(工場跡地の緑地化)



職場見学会



ボランティア活動
(2016年いわて国体)



【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営戦略室 広報課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。